

みずしるべ

しんまろ情報



新丸山ダムキャラクター
しんまるくん

発行
建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

14

INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして、情報誌「みずしるべ」を発行しております。今号では「地質調査」をご紹介します。今後も内容をますます充実させていきたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお寄せ下さい。



アマゴ
夏の水温が20℃以下のきれいな溪流に生息する淡水魚。新丸山ダム周辺にも見られます。全長は約30cm。体の横に華やかなオレンジ色の点がついています。えさは、主に川を流れる昆虫、イワナとなわばりを争うことがあります。

新丸山ダム概要
新丸山ダム建設事業は、木曾川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げて、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。
我が国あるいは世界で大きな役割をになっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曾川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすこととなります。



プリンセスホール雅



花のタワー



花と水のワンダーランド(イメージ図)



平成2年(1990年)に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」と「花の都ぎふ」運動の5周年を記念して、岐阜県可児市の果営可児公園で、6月4日まで「花フェスタ'95」が開催されています。世界各地から集めたバラ・チューリップなど千百種類、百万鉢、一千万本の花が会場一面に咲き誇っています。

花を通じて花や緑を愛する心や、地球環境を大切にす意識を深めてほしいと、子供からお年寄りまで一日中楽しめる企画がいっぱい。会場は、テーマゾーンとなる、花と緑のある暮らしを提案する「夢のゾーン」のほか、自然との共存をアピールする「花のゾーン」、出合いの楽しさを満喫できる「人のゾーン」の3つのゾーンに分れています。「日本一のバラ園」では、バラ苗生産日本一をほこる岐阜県を象徴し、シンボル花壇として、日本初公開の約四百種類を含む4万株のバラが集まっています。このほか会場には、公園を一望できる「花のタワー」、楽しいイベントが連日くりひろげられる「プリンセスホール雅」など、見どころたっぷり。

中部地方建設局
花と水のワンダーランド

この「花フェスタ'95」に建設省中部地方建設局・水資源開発公団中部支社・(株)中部建設協会も出展し、「人のゾーン」の中にある集合パビリオン「花夢館」内に、「花と水のワンダーランド」と名付けたコーナーを設置。花にとつて欠かせない水と、水を浄化する役割がある水生植物。花と水の密接な関係を、展示や実験を通して、分かりやすく紹介しています。

人々の心に、豊かさや安らぎを与えてくれる花や緑、春風がそそぐ花の楽園に、みなさんもぜひ足を運んでみませんか。

- 瑞浪市
- 6月24日 健康祭「まきがね公園」
 - 6月24日～7月9日 恵那山高原花しょうぶ祭り
 - 6月25日 送り神「大井町・御所前」
 - 7月2日 百万遍「東野・小野川」
 - 7月29日 根の上高原カーニバル花火大会
- 八百津町
- 6月25日 青少年を育てる会「ファミリーセンター」
 - 6月25日 町民水泳大会「B&Gプール」
 - 7月9日 B&Gバレーボール大会「B&G体育館」
 - 7月30日 町制40周年記念式典「ファミリーセンター」
 - 8月6日 蘇水峡川まつり「八百津橋周辺」
 - 8月6日 B&G連絡協議会マリンスポーツ交流会
 - 8月21日 スポーツ少年団交流会
 - 8月26日 スポーツ少年団交流会
- 御高町
- 5月26日～28日 御高町美術展「中公民館」
 - 6月25日 可児郡少年の主張大会「中公民館」
 - 8月5日 みたけ真夏の夜の花祭り'95「みたけの森」
- お問い合わせ 恵那市役所 (0573) 266-2111
- お問い合わせ 八百津町役場 (0574) 433-2111
- お問い合わせ 御高町役場 (0574) 677-2111

建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所
〒505-03
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でもお気軽にお問い合わせ下さい。
0574-43-2780(代)

「ダム建設は、どこまですすんでいるの？」
「これからどんな工事が必要なの？」
新丸山ダムのいろいろな最新情報を紹介します。

1 ダムサイトの地質調査

確認が必要な場所にタテやヨコに穴を開けて岩盤を調査します。

ダムをつくるには、その土台となる基礎の岩盤がしっかりしていなければなりません。このため、ダムを建設するとき、ダム計画地点の地質について様々な調査を行います。地表面からは山の深部の地質がわからないため、ボーリングマシンという機械を使って山腹に垂直方向の穴を掘り、そこにある土や岩などを採取し分析するボーリング調査や、

高さ1.8~2m、幅1.5mの水平方向のトンネルを掘り、作業員が中に入って調査する横坑調査で岩盤を確認。ボーリング調査で掘った穴に水を注ぎ、染み透る様子を測定し、ダムの基礎岩盤が貯水池の水をもらさないかを把握します。横坑調査ではボーリング調査の結果から、もっと詳しい調査が必要なところで、直接、岩盤を目で見て、岩盤がダムの重さに耐えられるかなどを調べます。

新丸山ダム工事事務所と丸山ダム管理所が共同で行うイベント『森と湖に親しむ旬間』では、横坑探検を行っているよ。キミも横坑の中を歩いて、自分の目で岩盤を見てみない？



▲横坑探検をする子供達

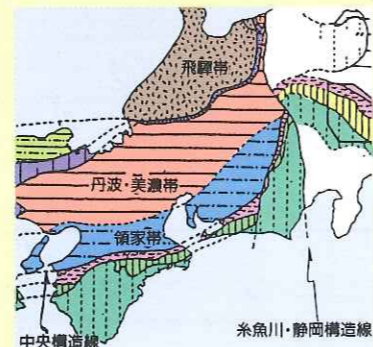
2 新丸山ダム周辺の地質

後々のための地道な調査が良いダムづくりにつながります。

大地からは、いろいろな石が出てきます。石はそのでき方によって火成岩、堆積岩、変成岩に分けられます。新丸山ダムの近くは地体構造区分上、美濃帯で、堆積岩でできています。堆積岩は砂や泥、火山灰などが積もって非常に長い年月を経て固まった岩石です。堆積岩はそのでき方や性質によって砂岩、泥岩、凝灰岩などに分けられます。



工事を行う前にしっかり調査を行います。



▲新丸山ダム周辺の地質図

様々な調査が信頼できるダムづくりをしっかりと支えています。

今号は…
地質調査
を紹介します

より安全で、もっと快適に暮らしたい。新丸山ダムが、そんな地域の期待に応え、暮らしのパートナーになるためには、ダム建設に関する様々な調査が欠かせません。中でも、建設予定地の地質がダムの土台にふさわしいかを念入りに調べることは重要です。そこで、様々な調査のうち、ダムを支えられる地質か、安全で経済的なダムが建設できるかなどを調べる地質調査について、どんな調査が行われているか紹介します。



地質調査は安全でたのもしいダムづくりの第一歩！

3 新丸山ダムの基礎岩盤

地質をしっかり理解して調査結果を生かしたダムづくり

新丸山ダムの基礎岩盤は、これまでの詳細な調査から、中古世層の砂岩、粘板岩、チャートや瑞浪層群の凝灰角礫岩で、十分、堅固な岩盤であることがわかっています。地質や岩石毎の年代表や、ダム建設予定地での種類は次のようになっています。

時	代	地層名	現
(百万年)	新	完新世	現
		更新世	産
1.7 (170万年前)	生	中新世	段
		瑞浪層群	凝
64 (6千4百 万年前)	中	ジュラ紀	砂
		三畳紀	互
242 (2億4千 2百万年前)	古	二疊紀	石
		石炭紀	炭

ダム建設予定地では、こんな岩石がみられます



●凝灰角礫岩

礫や砂及び火山噴出物が積もって固まってできた岩石で、ダムサイト右岸及び左岸下流の小和沢沿いに分布しています。



●粘板岩

水や風的作用によきた泥が積もった岩石。ダムサイト床付近に主に分布



●チャート

生物の死がいが集まって固まった岩石で、ダムサイト右岸に見られます。表面がつるつるして硬いので、昔は石器や火打石に使われました。



●砂岩

水や風的作用によきた砂が積もった岩石。ダムサイト床付近に主に分布



様々な調査が
できるダムづくりを
かり支えています。

今号は…
地質調査
を紹介します

で、もっと快適に暮らしたい。新丸山ダム、そんな地域の期待に応え、暮らしの良くなるためには、ダム建設に関する調査が欠かせません。中でも、建設地の地質がダムの土台にふさわしいかを調べることは重要です。様々な調査のうち、ダムを支えられ、安全で経済的なダムが建設できるかを調べる地質調査について、どんな調査が行われているか紹介します。

地質調査は
安全で
たのしい
ダムづくりの
第一歩！

3 新丸山ダムの基礎岩盤

地質をしっかりと理解して
調査結果を生かしたダムづくり

新丸山ダムの基礎岩盤は、これまでの詳細な調査から、中古世層の砂岩、粘板岩、チャートや瑞浪層群の凝灰角礫岩で、十分、堅固な岩盤であることがわかっています。地質や岩石毎の年代表や、ダム建設予定地での種類は次のようになっています。

時代	地層名	地質名	構成岩石・堆積物
新第四紀 (170万年前)	完新世	現河床堆積物	砂礫
		崖錐堆積物	角礫・粘土
	更新世	段丘堆積物	砂礫
新第三紀 (64万年前)	中新世	瑞浪層群	凝灰岩シルト～泥岩 凝灰角礫岩
			凝灰角礫岩
中生代 (2億4千万年前)	ジュラ紀 三畳紀	“中・古生層”	砂岩・粘板岩層 互層
			砂岩・粘板岩 チャート
	二畳紀 石炭紀	チャート	

▲ダム周辺の地質年代表

ダム建設予定地では、こんな岩石がみられます



●凝灰角礫岩

礫や砂及び火山噴出物が積もって固まってできた岩石で、ダムサイト右岸及び左岸下流の小和沢沿いに分布しています。



●粘板岩

水や風的作用によって運ばれてきた泥が積もって固まってできた岩石。ダムサイト左岸から河床付近に主に分布しています。



●チャート

生物の死がいが集まって固まった岩石で、ダムサイト右岸に見られます。表面がつるつるしていて硬いので、昔は石器や火打石に使われました。



●砂岩

水や風的作用によって運ばれてきた砂が積もって固まってできた岩石。ダムサイト左岸から河床付近に主に分布しています。



新丸山ダム
周辺の地質を
学習しよう！

新丸山ダムトピックス

■水源地域対策特別措置法による事業の第1号が完成

恵那市飯地町南地内で、水源地域対策特別措置法に基づく新丸山ダムに係る水源地域整備計画のうち、農業集合施設の整備が進められ、水源地域整備事業として初めて完成し、このほど3月19日「南ふれあい会館」と名付けられ落成式が行われました。式典には、約50人が出席し、恵那市長や新丸山ダム工事事務所長らのあいさつにより進められました。

市民の方々からは、南ふれあい会館が地域の活性化や活発なコミュニティ活動の拠点となることを期待されています。



●水源地域対策特別措置法とは…

ダム建設によって、著しい影響を受ける地域などの整備を行うものです。目的は、水没地周辺地域の生活機能や生活環境に及ぼす影響を緩和し、関係するみなさんの“生活の安定”“福祉の向上”をめざすこと。

新丸山ダムは、ダム指定を受け、道路や簡易水道など21の整備事業を行う計画になっています。

■事務所近況

新丸山ダム建設事業をさらに進めるため、事務所の施設の充実を図っています。



3月に完成した車庫▶

■婦人会が丸山ダムを見学

今年2月24日、八百津地区の婦人会19人のみなさんが、町内施設の見学を実施。その一環として丸山ダムに訪れました。約1時間に及ぶ見学を通じて、婦人会のみなさんに、丸山ダムの役割と新丸山ダムの建設について、理解が深まったと思います。



■丸山ダム展望台に案内板を設置

新丸山ダム建設事業について、地元の方々はもちろん、中部圏で生活する方々に広くダムの働きを理解していただくため、丸山ダム展望台に、新丸山ダム建設に関してわかりやすく紹介した案内板を設置しました。ぜひ一度ご覧ください。



しんまる
Q&A

Q じょうぶなダムをつくるために
どんな工夫をしているの？

A どんなものをつくるにも、良い材料を選ぶことが大切だね。じょうぶなダムをつくるにも硬くて長持ちする材料を探さなければいけないんだ。

良い材料がたくさん採れる原石山を決めるため、その山の原石を採っているいろいろな試験を行っているよ。比重や変形・強度・吸水性などの試験にパスしたものをコンクリート材料として使うんだ。

じょうぶな
材料探し
欠かせません！



ふれあい すぺ〜す

まぼろしの船「ダム湖の遊覧船」を追って

人々に夢と感動を与え、 ダム湖と生きた男たち。



▲大勢の人で賑わう進水式



▲現在の旅足橋

春は桜、秋には紅葉を静かな湖面が映しだす。白い水しぶきをあげて、滑るように進む遊覧船。こんな風景の見られた頃にさかのぼり、たくさんの人々の笑顔をのせて走った「丸山ダム湖の遊覧船」の話を特集します。



▲丸山ダムをバックに。早川さん(左) 岩井さん(右)

遊覧船を通して、特別にダム湖や木曾川、地域の人々と深い関わりがあった、当時の

船長、岩井弘さんと早川秀夫さん。2人は、ほかの船を運転していた



岩井さん 経験を活かし、観光船を運転する資格を取って船長になりました。

当時、世界でも有数の規模を誇っていた丸山ダムのこと、昭和29年10月に行われた遊覧船の進水式には、地元の人々をはじめ、ほかからも多くの人が訪れ、いざさか派手な登場になりました。地域の人の重要な交通手段となった50人乗りの「白鳥丸」は、丸山ダムから深沢峡までを1日3回往復。

「乙姫丸」は、70人乗りで観光船としてその先の神田巻までを、随時往復していました。また、名古屋などから直通のバスが出ていて、丸山ダム観光はツアー一番の目玉だったといえます。「1艘で、観光客がさばききれないときは、屋形船を2艘も引っぱり走った」と岩井さん。屋形船は25人乗り、全部で百人以上の人を乗せて走りました。

「はじめのうちは、マイクで観光案内もしていたね。お客さんと一緒に写真を撮ったり、帽子をかぶせてあげたりもしたよ」と早川さん。2人は懐かしそうに当時の



早川さん のアルバムをめくりながら話してくれました。遊覧船の魅力は、やっぱり四季ごとに姿を変える大自然を間近で満喫できること。なかでも旅足川に掛かる旅足橋辺りは特別美しかったそうです。この橋は昭和28年に完成し、その美しさを人々は絶賛したといえます。

そんななか、昭和34年の伊勢湾台風は、遊覧船の運航に、大きな打撃を与えました。大雨のため上流から流れついた大量の材木や流木がダム湖ばかりでなく、川までを埋めつくしました。そのため遊覧船は一時運休。ピンチを乗り越え、再び運航が開始されましたが、自家用車が普及したことなどから利用者が減少。ダム完成とともに人々に



▲大勢の観光客を乗せて走る乙姫丸



▲当時の旅足橋

夢と感動を与えてきた遊覧船の運航は、昭和45年に幕を閉じました。遊覧船はなくなったものの、当時と変わることのない美しい景観が、丸山ダムの周辺にはたくさん残されています。木もれ日にきらめく湖面、新緑が芽ぶく季節がきました。ダム湖に春の一日を過ごしに来ませんか。